

近 着 統 計 書 案 内

図 書 名	刊行年 調査年	発 行 者	図 書 名	刊行年 調査年	発 行 者
総 記			各 都 道 府 県		
人口問題研究100号	42年	厚生省人口問題研究所	統計要覧	41年	北海道
〃 101号	〃	〃	県民所得報告書	40年	山口県
日本の統計	1966	総理府統計局	第10回琉球統計年鑑	1965	琉球政府
国勢調査報告(第3巻)	40年	総理府統計局	統計より見た愛媛県の地位	41年	愛媛県
地方財政統計年報	40年	自治省	統計調査要覧	42年	東京都
わが国労働人口の将来推計	42年	厚生省人口問題研究所	県勢のしおり	1966	鹿児島県
日本標準産業分類	42年	行政管理局	統計年鑑	40年	静岡県
全国都道府県市区町村別面積調	41年	国土地理院	県勢ダイジェスト	42年	神奈川県
産 業、経 済			集13回統計年鑑	40年	群馬県
管内経済年報	41年	大蔵省関東財務局	統計年鑑	40年	栃木県
地域農業の動向	1966	農林省	県民生活指標	42年	福島県
毎月勤労統計調査総合報告書	41年	労働省	統計年鑑	41年	千葉県
改訂雇用賃金労働時間数	41年	〃	県民所得	40年	〃
法人企業の実態	40年	国税庁	〃	40年	埼玉県
第38回国税務統計書	40年	関東信越国税局	私たちのくらし	41年	静岡県
個人企業経済調査年報	40年	総理府統計局	統計書	40年	長野県
法人企業投資予測統計調査報告	42年	経済企画庁	埼玉県の地位	42年	埼玉県
工業統計表(用地、用水)	39年	通産省	茨 城 県		
貯蓄動向調査	41年	総理府統計局	茨城県昭和42年度そ菜生産状況	42年	茨城県
申告所得税の実態	40年	国税庁	県内製造業従事者の実態		
第91回国税庁統計年報書	40年	〃	茨城県法人企業統計年報	40年	〃
工業統計表(企業)	39年	通産省	県内の工業	40年	開発部
昭和40年国富特別調査報告	42年	経済企画庁	県民所得	40年	統計課
建築統計年報	40年	建設省計画局	茨城の畜産	41年	茨城県
教 育、文 化			主要農作物10プール当り平年収量	42年	茨城県農林省茨城統計調査事務所
学校設備調査報告書	41年	文部省	市民所得	42年	水戸市
文部省第63年報	40年	〃	昭和41年人口動態の概況	42年	医薬務課

“物価上昇指数が示すわがくらし”

果つることのない物価の値上り、営営として建
設されていく私達のさみやかなくらしが、物価攻
勢の嵐の中に、アツプ、アツプと溺れてしまうよう
で、予定外の支出が家計を圧迫して、お母ちゃん
の患痴などに薄絡サラリーマンの悲哀を味わうこ
の頃である。物価の比較を容易にするために消費
者物価指数がある。この指数によると、昭和40年
基準総合指数=100.0に対し、39年91.5、41年104.4
42年6月105.7と物価の上昇がはつきりと示されて
いる。

“統計の誤差ということ考える”

統計辞典によると、誤差とは、ある
物量の測定値を測定または観測によつ
て求める場合、真の値に対して常に多
少の誤差を伴うものであるとあり。す
なわち「測定値-真値」である。統計
調査には、多少の誤差がつきものであ
る。誤差の原因として偶然誤差（無意
識的誤差）、組織的誤差（癖）、不注
意による誤差とに分かれる。偶然誤差
は原因がはつきりしない一つまたは多
数の事情によつて生じ、組織的誤差は
、測定者（調査者）の特質、測定器具
（調査票等）、測定方法（調査方法）
の質等から発生し、一定の法測性があ
って理論的には補正が可能であるとさ
れ、不注意による誤差は数字の読み違
いや書き違いによつて生ずるもので
あり、細心の注意によつて除くことが
できるものである。

“エンゲルの法則にみるくらし向き”

ドイツの統計学者エルンスト・エンゲルがベル
ギーの労働者家族の生活費について調査した結果
得た法則で、家計費中に占める飲食費の割合をエン
ゲル係数として表わし、くらしのパロメーター
としている。すなわち、エンゲル係数が低率なほ
どくらしは楽になることになる。ちなみに水戸市
について調査している家計調査のうち、全世帯平均
1ヶ月間の消費支出に占める飲食費の割合、すな

わちエンゲル係数は、昭和32年43.8であつたが、
昭和38年36.8、39年32.7、40年31.9となり、数字
のうえではくらしの向上を示している。

“統計グラフまず零線をたしかめる”

統計数値の大小の差の比較を容易にするための
統計図表は、普通、目盛を用いる差図をもつて表わ
す。この場合目盛は必ず零を有する基線（基軸
線）から始めなければならない。たとえば、棒図
の場合棒の長さを表わす目盛をつけるが、これに
棒の長さが数値の全部を表わすことを示すためには
零線を基軸線として描くことを原則としている。
線図表の場合も同じことがいえる。ただし、指数の
場合、基準時の100を基軸線とすることになる。

“集中豪雨政治の貧しさを笑う”

ついこの間まで干天つづきで田植水
にも困っていた今年の空梅雨が、南方
に発生した台風7号のいたずらによつ
て眠っていた梅雨前線を刺激して、
7月8、9日にかけて、各地に集中豪
雨をもたらした。特に西日本を襲った
豪雨は、がけ崩れ、山くずれ、河川の
はんらん、道路、鉄道の決壊、田畑の
冠水、住宅の破壊などの恐ろしい惨禍
を残した。特に尊い人命が364人（死
者263人、行方不明101人）（11日報道）
も失われてしまった。科学の発達した
現代において、ただ天災だつただけ
では済まされないだろう。災害は忘れた
頃にやってくる。備えあれば憂なし
の行政を行なつてもらいたいものであ
る。



20

“君も私も1億分の1のうち”

日本の人口も、ついに1億突破、狭い四つの島に
ひしめき合つて生活を余儀なくされる。最近は少
産少死型への傾向にあり、平均余命も先進国な
みの男68.9才、女73.30才に高まり、若年労働力の
減少と老令人口の増加という現象は、これからの
労働市場に大きな影響を与えようである。人口密
度は1Km²当り270となり世界でも有数の濃密人口
国となつた。